

意味を含めてこゝに入れるので、決して實物が手近にないから、況んや集めるのが面倒だからの爲ではないこゝを辨別でなく斷つて置く。

繪を見るのである。觀察だからと言つて科學的分析的態度をのみ強要しないで全一的に繪をしてもみるのである。理窟はさも角、雨の日の午後のひまゝき、今迄み古した繪

## 手 技

### 第五週

自由畫 自在二回

缺仕事 チューリップ

赤、白なごの單純な色のチューリップを一二本小さな花瓶にさして、保育室におく、これを見て、各幼児に模造紙でこの切り紙をさせる。葉は一二枚きらせて花を葉に適當の位置に保母がはりつけて、莖はクレヨンで幼児にかゝせる。

幼児自身で、はじめて實物の觀察をして、これを表現す

本の中から「みんなで乗物を集めませう」と集めさせる。話し合ひ乍ら種類、形、なごを観る。そして出来るならそれを切り抜かせる。(勿論切つてもいゝものを、そしてそれに依つて本を粗末に扱ふ習慣をつけぬ様充分注意して) 切つたのは一枚の紙に位置よくはりつけてみる。こうしたなら古い本もきつゝこんな更生を喜ぶであらう。

るのであるから、保母の方であまり期待を大きくせず、花らしさ、葉らしさがあらはれてあればそれで、満足すべきである。尙各幼児自身のこの結果に保母が缺なき入れる事は絶対に禁物である。

もしこの場合にこの花の表現が出来ない幼児には保母がごくく、簡單な形のものをつつ切つて見せ、その表現の様子をしらせてやるのも一方法である。

ぬり絵 カメ

これは黒のクレヨンでぬらせてもよいのであるが、出来

れば墨で毛筆でぬらしたい。一三人つゝ交代に筆をさらせて静肅にしてかゝせる。

## 第六週

自由畫 自在 一回

りんご 一回

りんごの實物を用意してよく觀察させておいて幼児の自由にかゝせる。

粘土 りんご

自由畫の時のりんごをそのまま翌日使用して粘土でりんごをつくらせる。柄は木の小枝を短くおつてさしこむ。

鈇仕事 ひなげし

前週のチューリップ同様に小瓶にさしたひなげしの花を見、又は花壇にさける花をよく觀察させて切らせる。

ひなげしは切花ミして賣つてゐない花であるから秋蒔ものミして前年から心がけて植えておくに誠に好都合である。

チューリップ ひなげしなきゝ必らずしも限られてゐるわけではない地方によつて適當の草花があればそれを用

ひればよい。要は花の形や、葉の形、大きなぎが幼児が觀察して、容易に表現の出来る材料であれば足るのである。

参考までにひなげしは移植の出来ないものであるから、みかん箱、石油箱の空箱に土を入れて秋に種をまき藁なごにて根本の凍らぬやうかこつておけばフリュームなきに入れなくても育つものである。

## 第七週

自由畫 自在 一回

お玉じゃくし 一回

廣口の硝子瓶や、金魚鉢なきにお玉じゃくしを入れて、保育室で飼養する。眞黒でちよろゝき可愛い姿で泳いでゐるお玉じゃくしは誠に幼児がよろこぶものである。

自由畫ミして畫きあらはすのも丸くして尾をつければよいので至極簡單なものである。

鈇仕事 お玉じゃくし

黒の艶紙なきにて自由畫の時同様にお玉じゃくしの形を切りぬかせる。四五匹位切らせて保姆が糊で帳面にはり

つける。

粘土 お玉じゃくし

ぬりゑ ひなげし

前週缺仕事にてこの材料をぎりあつかつてゐるので、その花の色、葉の色なき幼児には容易にぬる事が出来る。

### 第八週

自由畫 自在 一回

年長組の自由畫を見る 一回

年長組の自由畫を保育室の壁間にならべて見せる。

粘土 自在 一回

缺仕事 金魚

お玉じゃくし同様に金魚を保育室に飼養する。幼児が金魚を日頃觀察して切り紙ミして形をつくらせる。チューリップ、ひなげし、お玉じゃくしなきミ異り少し形のミりにくいものであるが、幼児は比較的簡單にするものがある。

ぬりゑ きんぎょ

幼児に色なき自由にならせる。

## 年長組、第一保育期

— 満五歳、満六歳 —

生活訓練

### 第五週

この週では食事の時の注意が行はれる。食事のこまは、